

ITベンチマークで国内ナンバー・ワンの  
SLRシリーズに画期的なIT支出の総合評価サービスが登場！！

# SLR-View

novel version

IT支出の全体感を可視化し、企業イノベーションを支えるITマネジメントの実現  
(SLR-ViewとSLR-Basicの融合抜粋版)

貴社のIT支出（IT Spending）は、企業イノベーションを促進していますか？  
SLR-View novel version では、貴社の「IT支出」の現状を可視化します。

## SLR-Viewのコンセプト

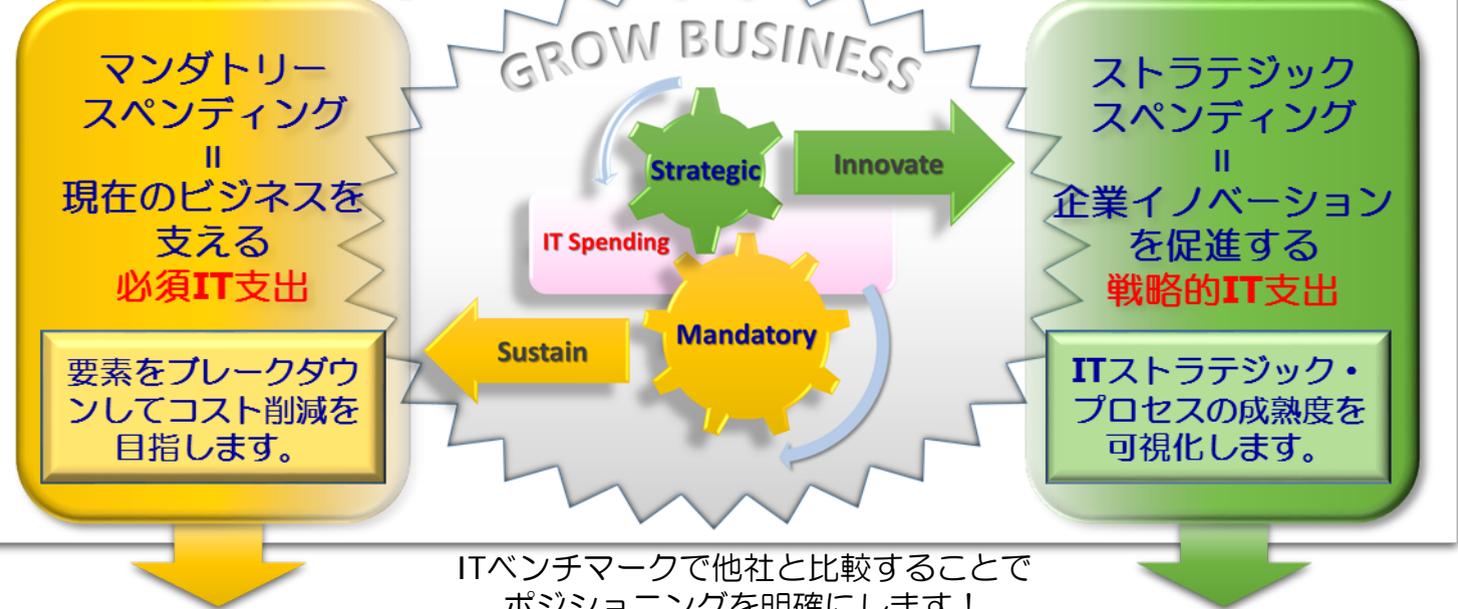
企業の「IT支出」を単なる新規投資と維持費に分類<sup>\*1</sup>するのではなく、戦略的IT支出（Strategic Spending）と現在のビジネスを支える必須IT支出（Mandatory Spending）に分類した上で、貴社のIT支出が、企業イノベーション実現に貢献するために適切なバランスとなっているかどうかを他社比較することで可視化します。

<sup>\*1</sup> 戦略的活動の維持費もあれば、単なるプラットフォーム更新も大型新規投資に分類されます。

### IT支出全体像

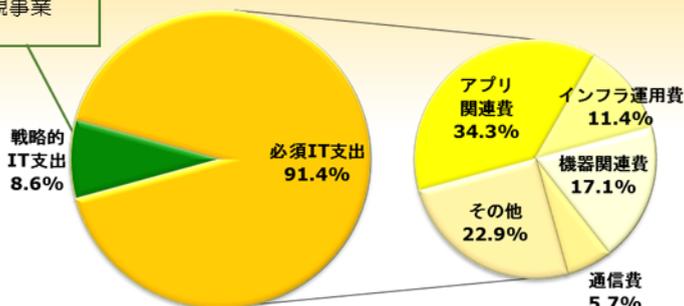
#### Mandatory Spending

#### Strategic Spending



#### <IT支出の内訳>

- M&A対応
- 新規事業
- etc.



#### <IT戦略的・プロセスの成熟度>



## SLR-Viewの特徴と導入のメリット

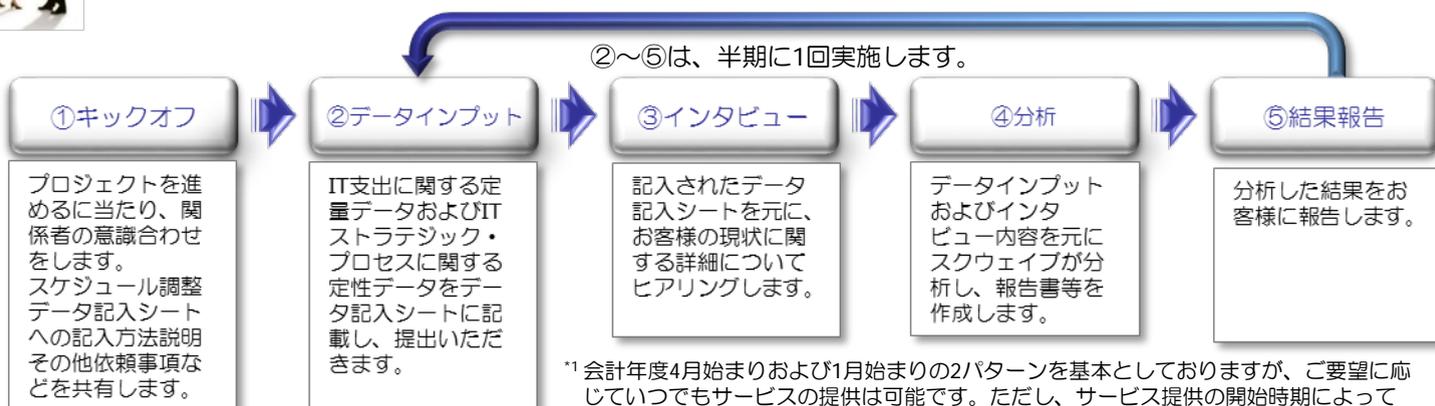
- 1 戦略的IT支出と必須IT支出の割合を他社比較することで、IT支出が単なるコストではなくて、企業の進化を促進するイノベーション・ドライバーとなっている割合を可視化できます。
- 2 戦略的IT支出は、最新のフレームワークによって自社の成熟度を把握した上で、改善の方向性を明らかにします。
- 3 必須IT支出は、コスト要素を分析した上で、コスト削減のポイントが明らかになります。
- 4 単発のベンチマークとは異なり、企業の予算策定と執行に即して精度の高いITマネジメント（予実管理）を、グローバル・データを含めた形で実現し、IT部門の本来の存在意義を可視化します。

※ SLR-Viewのフレームワークは、IT-CMF (IVI)、COBIT 5 (ISACA)等のコンセプトを採り入れ、Computer Economics社のグローバル・データを活用するスクウェイブ独自の体系となっています。

## SLR-View サービスの流れ

SLR-Viewは、年間契約\*1のサービスであり、年2回（1回目：予算・実績値評価、2回目：実績見込み評価）、貴社の予算年度に即して調査・報告を実施します。下記の流れでサービスを提供します。

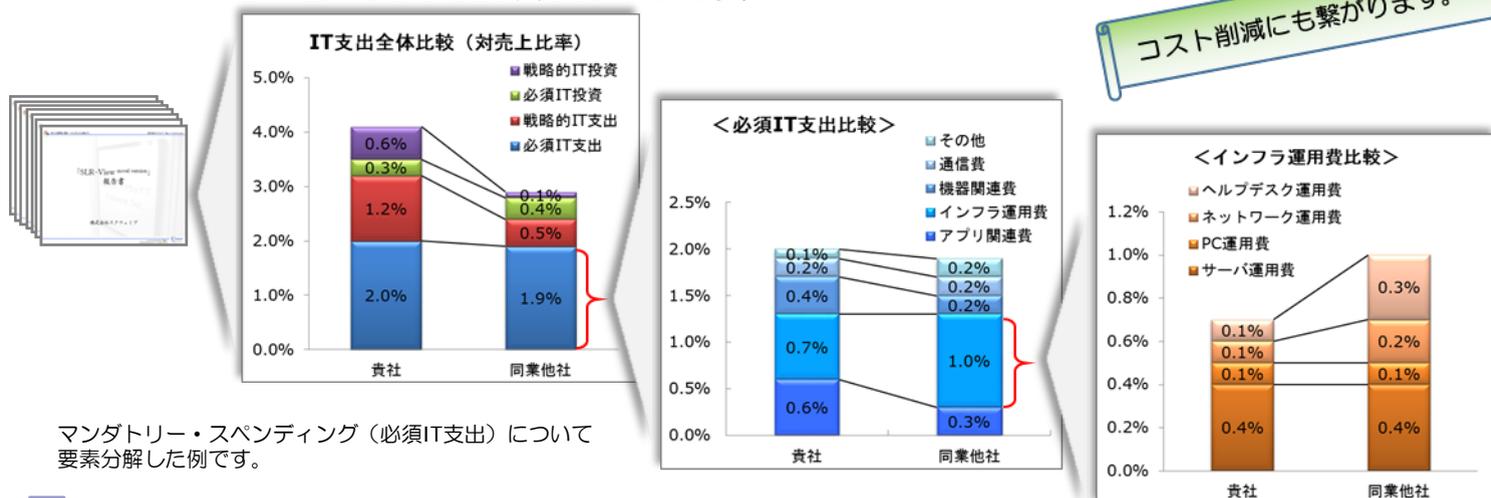
予算年度に即してサポートします。



\*1会計年度4月始まりおよび1月始まりの2パターンを基本としておりますが、ご要望に応じていつでもサービスの提供は可能です。ただし、サービス提供の開始時期によっては、「予算・実績値評価」と「実績見込み評価」の順番が前後する場合があります。

## SLR-View 成果物イメージ

SLR-Viewサービスにおける成果物イメージです。



マンダトリー・スペンディング（必須IT支出）について要素分解した例です。

## SLR-View 価格

総合パッケージ標準価格： 350万円（税別）

IT支出評価：300万円、ITストラテジック・プロセス評価：100万円

※ ITストラテジック・プロセス評価は、すでにIT支出評価を実施済のお客様限定サービスです。

※ 調査実施先が東京近郊以外の場合、交通費・宿泊費は、実費精算になります。